

[プログラムリスト](#) > [グローバルCOEプログラム](#) > 惑星科学国際教育研究拠点の構築

神戸大学

惑星科学国際教育研究拠点の構築 ～惑星科学研究センターの構築～

平成20年度

グローバルCOEプログラム

惑星科学国際教育研究拠点の構築 ～惑星科学研究センターの構築～

神戸大学大学院理学研究科

共同申請：神戸大学・北海道大学



惑星科学の本質は、細分化された分野・手法で得られた知見情報を総合し、惑星や惑星系の起源・進化・多様性の全体像を整合的に構築し、普遍化することにある。本グローバルCOE事業では、

- 1) 惑星科学を担う人材の育成を大学の枠を超えて組織的に行うシステムの構築
 - 2) 惑星科学の先端知見の集積および提供
 - 3) 研究活動の展開
- を推進している。

我々は上記3つの目的を達成し、維持するために、惑星科学国際教育研究拠点たる惑星科学研究センター（Center for Planetary Science、略称CPS）を設立した。我々は、このセンター運営に若手研究者や大学院生を積極的に登用している。これは拠点を形成する活動であると同時に、若手研究者たちへのOJT的な教育にもなっている。つまり、拠点形成活動の一環である研究環境整備の実践、教育研究指導の体験、実社会との接触などを通じて、広い視野と行動力、指導力を体得することになる。

CPSの主な活動は次の通り：

- 国際交流事業：国内外から著名な講師を招聘し、国際スクールプログラムとして毎年「国際プラネタリクス」を開催している。世界の若手研究者・大学院生を対象に惑星科学の最先端講義の提供と国際交流の促進を図っている。さらに、院生・研究者の海外派遣、海外から研究者を受け入れる公募プログラムを実施して、海外研究者とのダイレクトな人材交流を支援している。
- 国内スクール事業：国内向けに多数の実験（実習）・セミナーを企画・支援している。当該分野の研究者による定期的な教育活動の支援・奨励を通じて、後進への専門知識の伝達や普及を行っている。
- 惑星科学に関する様々な資料を閲覧できるCPS図書館事業：若手研究者と大学院生による情報化活動集団(MOSIR Project)を強化し、講演動画とテキストを組み合わせた講義資料をウェブ上に整理し、提供している。IT技術を基盤とする開かれた教育研究システムによって、国内外に分散する研究者からの情報の集積と提供を可能にしており、分野を俯瞰し横断的な教育研究を可能としている。

グローバルCOE事業を通じて人々が集い、知見情報が集積する場、つまりCPSが作られ、そしてこのCPSを基軸として惑星科学全体“惑星系の起源・進化・多様性”を俯瞰する活動が促進されるとともに、高い専門性も維持されると我々は考えている。



資料等

[惑星科学研究センターの紹介ポスター \(2MB\)](#)

リンク

[惑星科学研究センター\(CPS\)](#)
[MOSIR Project](#)

このGP取組に関する感想を投票してください

- 参考になった
- どちらでもない
- 参考にならなかった

このGP取組に関する簡単なアンケートにお答え下さい

[アンケートに答える](#)